

# 子どもの予防接種

1か月を過ぎたら早めに計画を立てましょう

- 予防接種は感染症などの病気から子どもたちを守るものです。
- 出生届時に冊子「予防接種と子どもの健康」をお渡しします。
- 冊子を必ず読み、お子さんの体調が良いときにお受けください。

■:標準的な接種年齢 (期間中はいつでも接種できますが、それぞれの予防接種の目的から標準的な接種の年齢を■を目安として示してあります。)  
 □:法律で定められている対象年齢

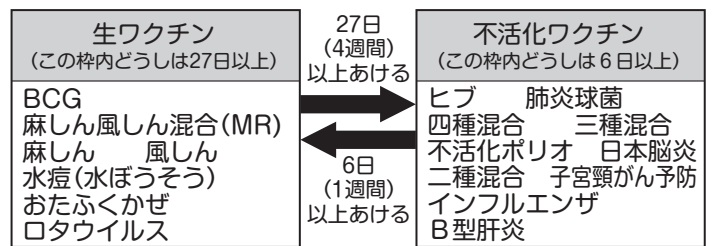
種類	対象年齢	出生時 2か月 3か月 6か月 9か月 1歳 2歳 3歳 4歳 5歳 6歳 7歳 8歳 9歳 10歳 11歳 12歳 13歳 14歳 15歳 16歳 17歳 18歳 19歳 20歳	接種回数等
BCG (結核予防)	0か月～1歳に至るまで	出生時	1回
ヒブワクチン	2か月～5歳に至るまで	2, 3, 4, 5歳	初回接種時の月齢により接種回数異なります
肺炎球菌ワクチン	2か月～5歳に至るまで	2, 3, 4, 5歳	初回接種時の月齢により接種回数異なります
四種混合 (ジフテリア・百日咳・破傷風・不活化ポリオ)	3か月～7歳6か月に至るまで	3, 4, 5歳	初回:20～56日間隔で3回追加:初回3回終了後、1～1年半の間に1回
麻しん風しん混合 (MR) 麻しん・風しん	1期:1歳～2歳に至るまで 2期:H22.4.2～H23.4.1生まれ 5歳～7歳未満で 小学校就学前の1年間	1歳, 5歳	1期:1回 (1歳になったらすぐに) 2期:1回
水痘 (水ぼうそう)	1歳～3歳未満	1歳, 2歳	2回(3か月以上の間隔をあげる)
日本脳炎	1期:6か月～7歳6か月に至るまで 2期:9歳～13歳未満 (特例対象者は9歳から20歳未満)	6か月, 1歳, 2歳, 3歳, 4歳, 5歳, 6歳, 7歳, 9歳, 13歳	1期:6～28日間隔で2回 翌年にもう1回 2期:1回
二種混合 (ジフテリア・破傷風)	11歳～13歳未満	11歳, 13歳	1回
子宮頸がん予防ワクチン	H12.4.2～H17.4.1生まれ 小学6年生から 高校1年生相当まで	11歳, 13歳	6か月間に計3回 ワクチンの種類により 接種間隔が異なります

注:対象年齢の解釈 「～未満」「～に至るまで」とも、「～の前日まで」 例:「5歳に至るまで」は「5歳の誕生日の前日まで」

- ※今後変更となったときは、広報小田原、ホームページ等でお知らせします。
- 上記予防接種は、対象年齢内であれば、取扱医療機関(8ページ参照)で、市負担(無料)で接種を受けられます。
- 取扱医療機関にあらかじめお問い合わせのうえ、母子健康手帳を忘れずにお持ちになり、お出かけください。
- 予診票は取扱医療機関に置いてあります。

## ほかの予防接種との間隔のあけ方

- ワクチンには生ワクチンと不活化ワクチンがあります。生ワクチンは接種後、体内で病原体が増え、約1か月で抗体が得られます。不活化ワクチンは病原体が増えないため、何回か接種をする必要があります。
- 十分な効果を得るために、ほかの予防接種を受けるときは必要な間隔をあけてください。



# メールマガジン

## ママパパ子育て知恵袋メール

妊娠されてから2歳になるまで月齢にあわせた子育てに関するミニ情報をメールします。イベント情報の紹介等もあります。(配信されない月齢のときもあります)  
 配信日:ママ向けメール 毎月1回程度  
 パパ向けメール 隔月1回程度

## 健康づくりメールマガジン

市民の皆さんに合わせた健康に役立つ情報が満載です。小田原市で行っている健康教室や健診(検診)のご案内もあります。  
 配信日:毎月25日、毎月1～2回(号外あり)



登録はこちらの登録用二次元バーコードからアクセスしてください。  
 URLでもアクセスできます。  
 (PC・携帯共通) <https://www.city.odawara.kanagawa.jp/m mz/>